

大学コンソーシアム学生海外派遣プログラムに参加して in フィリピン

152NA17 小倉 香月

大学コンソーシアム学生派遣プログラムの看護コースに参加し、フィリピンのマニラへ行ってきました。研修場所は **San Lazaro Hospital** という、感染症を主とした大きな病院でした。**San Lazaro Hospital** では、狂犬病やデング熱、糸状虫症、HIV、結核、破傷風などをDVDや実際に病室に伺いながら学習しました。また、病院見学も行き、日本の病院との違いをたくさん見ることができました。



また、臨床検査コースは3名参加しており、病院内にある研究施設で実際に検査を行ったり、様々な機械も見学させていただいたり、とても充実していたとのことでした。

英語でのコミュニケーションは、時に伝えることがむずかしい場面もありましたが、とても優しく明るい人たちばかりでジェスチャーなども用いて楽しくお話しすることができました。



自由行動では、教会や美術館、ショッピングモールに行ったり、カレッサという馬車に乗ったり、San Lazaro Hospitalの方とジャグジーに入ったり、食事に行ったりなどとても楽しい時間を過ごすことができました。特にフィリピン料理やフルーツ、スムージーはとてもおいしく、みんなで毎日たくさん食べました。実際にフィリピンを観光したりフィリピンの方とお話することで文化の違いも知ることができ、貴重な体験に溢れていました。



今回のフィリピンでの海外研修では、日本の病院ではあまり見ることのできない感染症を見ることができたり、日本とはまた違った景色を見ることができたりなど、様々な経験ができ、大学コンソーシアム学生派遣プログラムに参加して本当に良かったです。

